

アンテナショップを紹介する
小田理事長(堺市北区で)



桜の枝にやさしい視線を送る山

NPO法人ぴーす (堺市北区)

障害児を放課後に受け入
れる放課後等デイサービス
などを展開しながら、事務
所の一角で、障害児が使い
やすい特殊な箸などの生活
支援グッズが並ぶアンテナ
ショップを運営している。

障害児の母親らでつくる
ボランティアグループのメ
ンバーらが中心となって16
年前に結成。障害児向けの
生活支援グッズの専門店は
なかつたといい、「障害と
上手に付き合ってもらえる
よう、困っている保護者の
役に立ちたい」と2012
年に始めた。

店舗では、聴覚過敏の子
供のために不快な音を遮断
するイヤーマフ(耳あて)
のほか、「がっこう(学校)」「
いえ(家)」をイラスト
付きで分かりやすく示した
カレンダーなどを販売して
いる。昨年11月からは、障
害者の自立支援の一環とし
て堺市内の障害者作業所で
作る授産品の雑貨や焼き菓
子などの販売も始めた。

設立…2005年9月
運営…職員約50人、障害児
の母親らボランティア約50
人。障害児の通所事業所を運
営するほか、生活支援グッズ
の販売などを行っている。問い
合わせは、ぴーす事務所(072
・250・9060)。

サポート

生活支援グッズずらり

う。小田多佳子理事長は「い
つでも気軽に相談できる場
所でありたい」と話してい

千本桜守る会のメンバー 飯森猛
さん(82)
「『守る会』との出会いは、公
園に妻と散策に来ていたことがき
っかけ。庭木が好きで、庭園管理
士(日本園芸協会認定)の資格を取

仲間から

得しており、園内の桜を見ると、
じっとしておられず加わった。人が
多く訪れる公園で木を健やかに育
てるのは難しいが、山田さんの熱
意はすばらしい。一緒に守り続け
たい」

格言
との大切さは、どんな職業
に就いても、またどんな活
動に携わるにしても変わら
ない。桜の見守りも桜を植
えてくれた人たちの気持ち
を大切にしようという一心
ですと取り組んでいる。

ソメイヨシノ 標準木のプレ

総合公園の第2駐車場近く
には、ソメイヨシノ開花の目
安にする標準木があり、傍ら
にはそれぞれの年の開花日を
示すプレートが取り付けられ
ている。最速だったのは2020
年の3月27日。山田さんの今

おにんにへり

年の予想は
う。21年から
ートへの記入
で記載でき
言わず、その
園であり続け
田さんは願